

平成23年度
鴨川市コミュニティバス運行結果

平成24年10月

鴨川市企画政策課

[目 次]

1 運行の概要	- 1 -
(1) 運行概要	- 1 -
(2) 運賃	- 1 -
(3) 収支	- 1 -
2 運行の実績	- 2 -
(1) 総輸送者数	- 2 -
(2) 1 便当たり輸送人員	- 3 -
(3) 10 人以上の乗車実績	- 3 -
3 ノーカーサポート優待証について	- 4 -
4 取組み事項	- 5 -
(1) 鴨川市地域公共交通会議における協議経過	- 5 -
(2) 調査等に関する事項	- 5 -
(3) コミュニティバスの運行に関する事項	- 6 -
(4) その他の路線バスの動向等（参考）	- 6 -

1 運行の概要

(1) 運行概要

閏年であったため、運行日数が例年より1日多い366日となっているが、それ以外は昨年度と同様の運行状況にあり、3路線・6系統で日当たり17往復・34便を、年間を通じて運行した。(下表のとおり)

	路線名	運行区間	運行本数 (往復)	運行日数 (日)	キロ程 (km)	停留所 (箇所)
1	北ルート	金山ダム～鯛の浦	3.0	366	20.29	
		金山ダム～鴨川駅西口	1.0	366	7.39	
		小計	4.0	366	27.68	48 (※1)
2	清澄ルート	天津小湊支所～奥清澄	6.0	366	12.89	20 (※2)
3	南ルート	鴨川駅前～曾呂終点	3.0	366	26.80	
		太海駅～曾呂終点	3.0	366	9.50	
		鴨川駅前～浦の脇	1.0	366	4.05	
		小計	7.0	366	40.35	54 (※3)
合計			17.0	366	80.92	

(※1) 重複停留所数 (南ルート：10、清澄ルート：2)

(※2) 重複停留所数 (北ルート：2)、(※3) 重複停留所数 (北ルート：10)

(2) 運賃

運賃自体の変更は無いものの、7月1日から自主的に運転免許証を返納した65歳以上の高齢者を対象に「ノーカー・サポート優待証」による運賃半額割引制度を、路線バスの実施に併せて導入した。

	路線名	形態	運賃	特例
1	北ルート	対キロ区間制	140円～750円	(半額) 小学生以下、身体障害者 手帳、療育手帳、ノーカー サポート優待証所持者 (無料) 未就学児童
2	清澄ルート	簡素化制	200円・400円	
3	南ルート	対キロ区間制	140円～860円	

(3) 収支

運行経費に変更はないものの、運行収入が60万円弱の減額となったため、収益率が1.5ポイント低下し、乗客1人当りの市負担額も42円増加した。

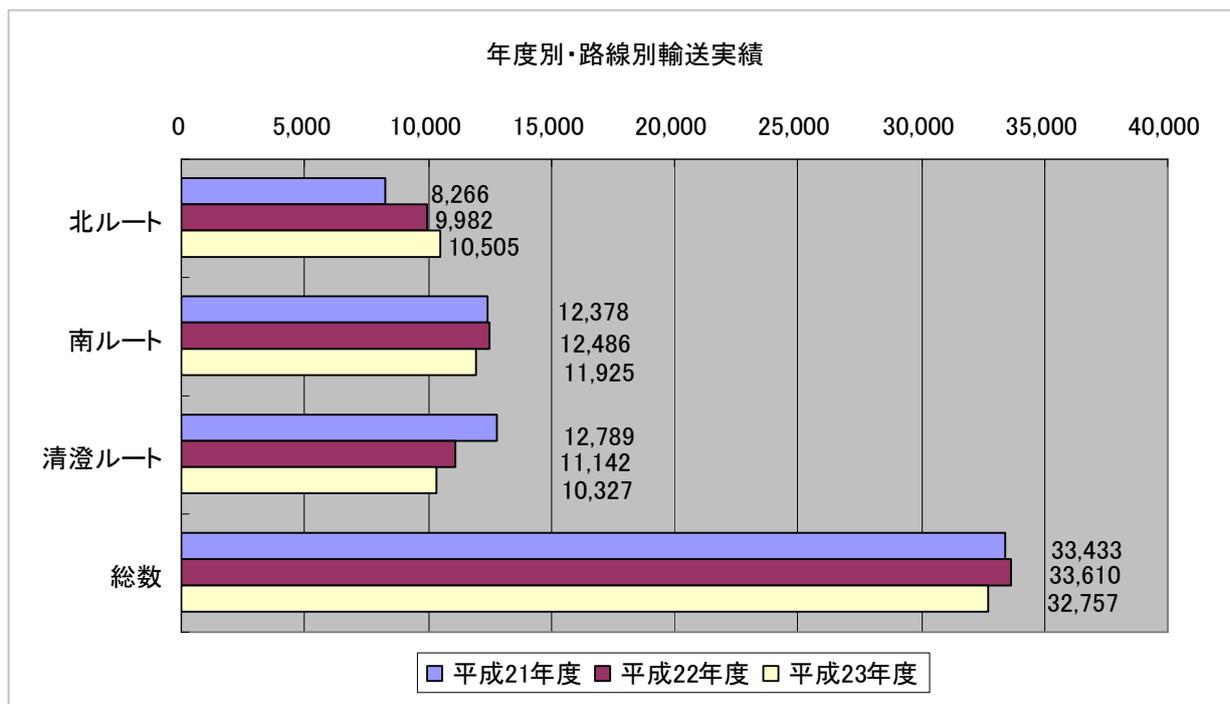
項目	H23 (千円)	H22 (千円)	比較増減 (H23-22)	
			増減(千円)	増減率(%)
運行事業者(委託先)	鴨川日東バス(株)	鴨川日東バス(株)	—	—
運行費用	37,500	37,500	0	0.0
運行収入	5,841	6,431	▲590	▲9.2
差し引き	31,659	31,069	▲590	▲1.9
収益率	15.6%	17.1%	—	▲1.5ポイント
乗客1人当たり市負担額	966円	924円	42円	4.5

2 運行の実績

(1) 総輸送者数

平成23年度の輸送実績は32,757人で、平成22年度の33,610人から853人、率にして2.5%の減となった。

なお、路線別の輸送実績としては、北ルートが対前年度比523人、5.2%の増となったものの、南ルートについては561人、4.5%と減少に転じ、また清澄ルートについては815人、7.3%と一貫して減少傾向にある。



○路線別輸送実績

	路線名	運行区間	H23 (人)	H22 (人)	H21 (人)	比較増減 (H23-22)	
						増減(人)	増減率 (%)
1	北ルート	金山ダム～鯛の浦	8,967	7,954	6,933	1,013	12.7
		金山ダム～鴨川駅西口	1,538	2,028	1,333	▲490	▲24.2
		小計	10,505	9,982	8,266	523	5.2
2	清澄ルート	天津小湊支所～奥清澄	10,327	11,142	12,789	▲815	▲7.3
3	南ルート	鴨川駅前～曾呂終点	9,168	8,817	8,764	351	4.0
		太海駅～曾呂終点	2,197	3,120	3,074	▲923	▲29.6
		鴨川駅前～浦の脇	560	549	540	11	2.0
		小計	11,925	12,486	12,378	▲561	▲4.5
合計			32,757	33,610	33,433	▲853	▲2.5

(2) 1 便当たり輸送人員

1 便当たりの輸送人員で最も多いのが南ルート[○]の鴨川駅前～曾呂終点間で、昨年度より 0.2 人増加の 4.2 人/便という結果であった。

また、最も増加した系統としては、北ルート[○]の金山ダム～鯛の浦間の 4.1 人/便で、昨年度より 0.5 人/便の増加であったが、その一方で、金山ダム～鴨川駅西口間では 0.7 人/便と最も減少が大きいなど、同一路線で相反する結果となった。

これらの結果、全体の 1 便当たり輸送人員は 2.6 人/便となり、総利用者数が減少したため、昨年度を 0.1 人/便下回る結果となった。

○年度別・路線別 1 便当たり輸送人員

	路線名	運行区間	運行回数 (往復)	H23	H22	H21	増減
				(人/便)	(人/便)	(人/便)	(H23-H22) (人/便)
1	北ルート	金山ダム～鯛の浦	3.0	4.1	3.6	3.2	0.5
		金山ダム～鴨川駅西口	1.0	2.1	2.8	1.8	▲0.7
		小 計	4.0	3.6	3.4	2.8	0.2
2	清澄ルート	天津小湊支所～奥清澄	6.0	2.4	2.5	2.9	▲0.1
3	南ルート	鴨川駅前～曾呂終点	3.0	4.2	4.0	4.0	0.2
		太海駅～曾呂終点	3.0	1.0	1.4	1.4	▲0.4
		鴨川駅前～浦の脇	1.0	0.8	0.8	0.7	0.0
		小 計	7.0	2.3	2.4	2.4	▲0.1
合 計			17.0	2.6	2.7	2.7	▲0.1

(3) 10 人以上の乗車実績

10 人以上が乗車した便数については漸増傾向にあり、平成 23 年度においては 127 便(全便数：12,444 便)が確認され、昨年度から 28 便、28.3%の大幅な増加となった。

路線別では、北ルート[○]がほぼ倍増となるなど一貫して増加傾向にあるほか、清澄ルートはほぼ横ばいであり、運行当時から利用者需要に対応できないケースが顕在化している状況にあり、南ルート[○]については、増減動向が著しいといった傾向が伺える結果となった。

また、その一方で、最大乗車人員は 3 路線全てで昨年度を下回る結果であった。

○10 人以上の乗車便数

	路線名	使用車両 (定員)	H23 (便)	H22 (便)	H21 (便)	比較増減		最大乗車人員 (H23・H22)
						増減(便)	増減率(%)	
1	北ルート	日野ポンチョ (27)	85	43	28	42	97.7	(18人・20人)
2	清澄ルート	トミタハイエース (15)	25	26	26	▲1	▲3.8	(22人・25人)
3	南ルート	日野ポンチョ (27)	17	30	17	▲13	▲43.3	(28人・30人)
合 計			127	99	71	28	28.3	

3 ノーカーサポート優待証について

高齢運転者による交通事故を抑止するため、運転免許を自主的に返納した 65 歳以上の高齢者を対象に「ノーカー・サポート優待証」を交付し、高速バスを除く路線バスの半額割引制度を平成 23 年 7 月 1 日より日東交通グループ 4 社が一斉に施行。同年 6 月 17 日から優待証の発行を開始した。

なお、平成 23 年度における発行状況及び利用者数は下表のとおり。

発行年月	発行枚数	発行累積枚数	利用者数(延べ使用回数)	
			鴨川日東バス管内	うちコミュニティバス分
H23.06	7	7	0	0
H23.07	8	15	18	0
H23.08	1	16	18	1
H23.09	4	20	19	2
H23.10	1	21	20	2
H23.11	4	25	45	5
H23.12	1	26	43	3
H24.01	2	28	25	3
H24.02	3	31	32	3
H24.03	1	32	33	4
計		32	253	23

※ 利用者数は乗務員からの報告による。

※ 利用路線は下記のとおり(高速バスは利用不可。コミュニティバスを除く。)

1) 市内線、2) 木更津線、3) 金谷線、4) 長狭線、5) 館山線

4 取組み事項

(1) 鴨川市地域公共交通会議における協議経過

年月	地域公共交通会議	資料等
23年 10月	・鴨川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正	
23年 10月	●第1回会議(平成23年10月19日) [議題] (1)交通会議の運営方法について (2)鴨川市コミュニティバスの運行状況について (3)鴨川市コミュニティバス利用者アンケートの結果について (4)運行に関する課題と見直しの方向性について	・資料1 交通会議の運営方法 ・資料2 コミュニティバス運行結果 ・資料3 利用者アンケート結果 ・資料4 コミュニティバスの運行に関する課題と見直しの方向性(案)
12月	●第2回会議(平成23年12月26日) [議題] (1)鴨川市の公共交通の現状について (2)南ルートについて ①利用状況調査について ②運行経路の見直しについて	・資料5 鴨川市の公共交通の現状 ・資料6 鴨川市コミュニティバス南ルートに関する利用状況調査結果 ・資料7 鴨川市コミュニティバス南ルート運行経路の見直し(案) ・資料 鴨川市コミュニティバス運行业務委託料内訳(平成23年度) ・鴨川市地域公共交通会議 第1回会議 会議録
24年 3月	●第3回会議(平成24年3月26日) [議題] (1)平成24年度鴨川市コミュニティバスの運行事業者について (2)南ルートの運行見直し策の改正について (3)有料広告の導入について	・資料8 平成24年度鴨川市コミュニティバスの運行事業者について ・資料9 南ルートの運行見直し策の改正について ・資料10 有料広告の導入について ・鴨川市地域公共交通会議 第2回会議 会議録

(2) 調査等に関する事項

年月	内 容	備 考
23年 6月	●免許証自主返納制度に関する意識調査アンケートを実施	鴨川地区(鴨川・田原・西条及び東条地区)高齢者交通安全部会講習会参加者を対象
10月	●南ルート(太海駅～曾呂終点間)3往復に関する太海駅での定点調査	10月12日～20日(うち7日間)
24年 2月	●鴨川市コミュニティバス再編検討基礎資料作成業務の実施(委託先:(株)トーチコンサルタント千葉事務所)	2月8日～3月25日
3月	●南ルート(太海駅～曾呂終点間)の第2往復便(曾呂終点発7:32・太海駅発7:55)の乗降調査	3月1日～12日(うち7日間)
3月	●南ルート(鴨川駅前～浦の脇間)の乗降調査	3月9日～25日(うち7日間)

(3) コミュニティバスの運行に関する事項

年月	内 容	備 考
7月	●ノーカーサポート優待証による運賃半額割引制度を導入	・市政協力員を通じたチラシ全戸配布 6月20日 ・広報誌への記事掲載(7/1号)
24年 1～3 月	●平成24年度運行事業者の選定 (1)運行事業者の公募(1月11日～2月10日) (2)運行事業者の選定(2月末) (3)運行業務委託契約の締結(3月22日)	運行事業者:鴨川日東バス株式会社
3月	●住民説明会 市内2地区(太海・太海浜区、曾呂全域)で南ルートの運行見直しに係る住民説明会を開催	太海公民館:3月27日 曾呂公民館:3月29日

(4) その他の路線バスの動向等 (参考)

年月	内 容	その他
24年 (4月)	●大学線(鴨川駅西口～城西国際大学観光学部)の運行時刻の変更(平成24年4月1日)	・鴨川日東バス株式会社(市補助有) ・利用状況調査(H23/10/28～11/1) ・広報誌への記事掲載(3/15号)
24年 (4月)	●市内線の一部区間の平日・土曜の増便(平成24年4月1日) (1)鴨川駅東口～天津駅:4.5往復 (2)鴨川駅東口～亀田病院:4.0往復 (3)鴨川駅東口～行川アイランド:0.5往復 ●長狭線(亀田病院～平塚本郷)の一部区間の増便 ・区間:鴨川駅東口～平塚本郷 ・増便数:全日 1.0往復	・鴨川日東バス株式会社
24年 (4月)	●勝浦急行線(小湊駅前駐車場～上総牛久駅)の運行回数(時刻)変更(平成24年4月5日) (1)平日 1.5往復→0.0往復 (2)日曜・祝日 1.5往復→0.5往復 (小湊駅前駐車場→上総牛久駅の1便のみ)	・小湊鐵道株式会社 ・広報誌への記事掲載(3/15号)